

児童自立支援施設のあり方に関する研究会 第2回議事次第

平成17年8月29日（月）
15：30～18：00
厚生労働省2階共用第6会議室

1. 開会
2. 委員紹介
3. 挨拶
4. 議題
 - (1) 入所児童減少の要因等についての報告等
 - ①「児童自立支援施設の入所状況とその課題について」
(厚生労働科学研究研究結果報告)
 - ②児童自立支援施設の視点より
 - ③児童相談所の視点より
 - (2) 意見交換
 - (3) その他
5. その他

配 付 資 料 一 覧

○座席表

○児童自立支援施設のあり方に関する研究会 第2回議事次第

○資料1 児童自立支援施設のあり方に関する研究会検討課題

○資料2 岩田委員からの提出資料

○資料3 山内委員からの提出資料

○資料4 千葉県市川児童相談所石井所長からの提出資料

○児童自立支援施設のあり方に関する研究会【参考資料】

児童自立支援施設のあり方に関する研究会

検 討 課 題

1. 施設の運営体制について

- 施設長及び児童自立支援専門員等の人事異動システム・資格要件等のあり方
- 施設運営全般のあり方

2. 寮舎の運営形態について

- 夫婦小舎制のあり方（維持確保・強化策）
- 交代制寮舎のあり方（充実・強化策）

3. 援助技術・援助方法の向上と研修システム・人材養成について

- 自立支援の援助技術・援助方法のモデル事例の抽出・整理・フィードバックのあり方
- 自立支援専門員等の養成のあり方

4. 施設機能について

- 入所児童の減少要因の分析
- 通所機能・一時保護機能・短期入所機能のあり方
- リービングケア・アフターケアのあり方
- 保護者の指導・支援のあり方
- 相談機能（児童家庭支援センターの付置等）のあり方

5. 関係機関等との連携について

- 児童相談所・学校・民生児童委員等関係機関との連携のあり方
- 少年院・法務省との連携

【資料①】

東京都萩山実務学校・誠明学園の在籍状況

年度	定員	在籍児童数	男子	女子	寮体制	備考
S55	256	188	156	32	男13女3	
S56	256	215	177	38	男14女3	萩山1増
S57	256	227	188	39	男15女3	誠明男1増
S58	272	224	186	38		
S59	272	214	175	39		
S60	272	210	172	38		
S61	272	228	189	39		
S62	272	209	173	36		
S63	272	195	156	39		
H元	272	173	134	39	男15女3	
H2	274	169	124	45	男14女4	誠明男1減女1増
H3	274	169	120	49	男14女4	
H4	274	159	114	45	男13女4	萩山男1減
H5	252	202	148	54	男12女5	萩山男1減女1増
H6	238	186	130	56	男11女5	誠明1減
H7	238	187	126	61		
H8	238	195	129	66		
H9	238	209	144	65		
H10	224	208	144	64		
H11	224	189	129	60		
H12	224	200	134	66		
H13	224	198	134	64		
H14	224	185	120	65	男11女5	
H15	224	208	131	77	男10女6	萩山男1減女1増
H16	238	214	138	74	男10女7	誠明女1増

誠明改築完了・萩山高齡児寮
萩山女子寮開設・誠明男女高齡児寮

入所児童数は各年度3月初日現在。但し、H3以前は2月末あるいは3月末の数字もある。

【資料②】

萩山実務学校在籍状況

年度	定員	在籍児童数	男子	女子	寮体制	備考
S55	96	72	72		男6	
S56	96	87	87		男7	
S57	96	89	89		男7	
S58	96	83	83		男7	
S59	96	74	74		男7	
S60	96	81	81		男7	
S61	96	89	89		男7	
S62	96	78	78		男7	
S63	96	76	76		男7	
H元	96	65	65		男7	
H2	98	57	57		男7	
H3	98	49	49		男7	
H4	98	53	53		男6(高齢児1)	高齢児寮開設
H5	98	76	68	8	男5(高齢児1)女1	女子寮開設
H6	98	69	58	11	男5(高齢児1)女1	
H7	98	69	57	12	男5(高齢児1)女1	
H8	98	74	63	11	男5(高齢児1)女1	
H9	98	81	69	12	男5(高齢児1)女1	
H10	98→84	80	68	12	男5(高齢児1)女1	
H11	84	72	62	10	男5(高齢児1)女1	
H12	84	74	61	13	男5(高齢児1)女1	
H13	84	76	63	13	男5(高齢児1)女1	小学部廃止
H14	84	67	53	14	男5(高齢児1)女1	
H15	84	74	52	22	男4(高齢児1)女2	男子寮減、女子寮増
H16	84	72	53	19	男4(高齢児1)女2	

入所児童数は各年度3月初日現在。但し、H3以前は2月末の数字。

【資料③】

誠明学園在籍状況

年度	定員	在籍児童数	男子	女子	寮体制	備考
S55	160人	116	84	32		
S56	↓	128	90	38		
S57	160人	138	99	39		男子1R開設との事。予算定員176人(143人)
S58	176人	141	103	38		
S59	↓	140	101	39		
S60		129	91	38		
S61		139	100	39		
S62		131	95	36		
S63		119	80	39	男8、女3	
H元		108	69	39	男8、女3	
H2		112	67	45	男7、女4	
H3		120	71	49	↓	
H4	176人	106	61	45		H5.3月 全面改築完了
H5	154人	126	80	46	男7、女4	男女/高齢児寮開設、男子1カ寮休止
H6	140人	117	72	45	男6、女4	
H7		118	69	49		5人交代制勤務実施
H8		121	66	55		
H9		128	75	53		
H10		128	76	52		
H11		117	67	50		
H12		126	73	53		
H13		122	71	51		
H14		118	67	51	↓	学校教育実施(青梅東小・中)
H15	140人	134	79	55	男6、女4	
H16	154人	142	85	57	男6、女5	女子5寮の開設

※ 昭和46年～53, 56, 57年度は3月末日、昭和54, 55, 58～平成16年度は3月初日の数字
「寮体制」で空白の欄は、不確かな年度

【資料④】

萩山実務学校の年間入所児童数と審判ケースの割合

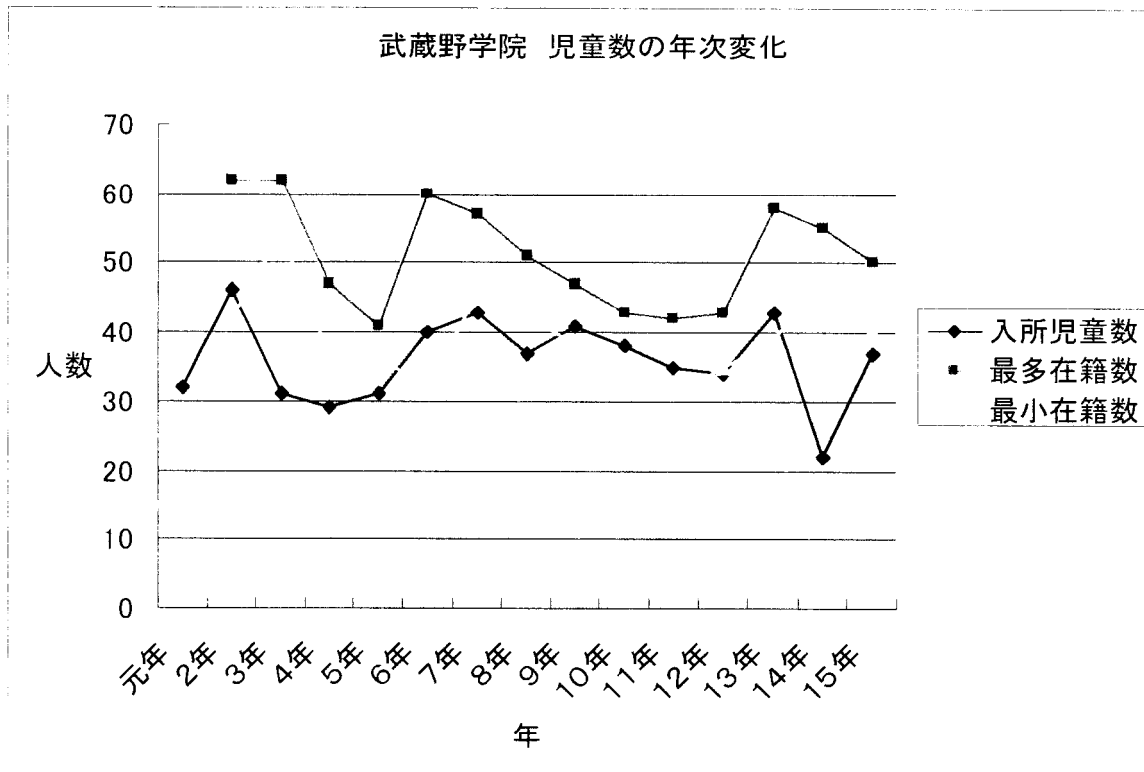
	年間入所児童数			家裁審判	
	合計	男	女	入所数	割合
S55	51	51		6	11.76%
S56	53	53		7	13.21%
S57	37	37		7	18.92%
S58	43	43		6	13.95%
S59	39	39		9	23.08%
S60	50	50		17	34.00%
S61	46	46		18	39.13%
S62	37	37		10	27.03%
S63	41	41		17	41.46%
H元	41	41		17	41.46%
H2	35	35		11	31.43%
H3	38	38		18	47.37%
H4	31	31		11	35.48%
H5	51	41	10	18	35.29%
H6	43	37	6	19	44.19%
H7	43	35	8	17	39.53%
H8	49	39	10	15	30.61%
H9	40	32	8	5	12.50%
H10	42	33	9	9	21.43%
H11	49	41	8	16	32.65%
H12	44	37	7	11	25.00%
H13	48	37	11	13	27.08%
H14	36	32	4	11	30.56%
H15	50	43	7	15	30.00%
H16	47	28	19	12	25.53%

資料 3

入所児童の減少について

2005.8.29

武蔵野学院 山内



入所調整、施設職員研修から

1 児童相談所の措置が困難な場合

- ①入所に反対の保護者（保護者は相談意欲が乏しい・子どもに恨まれたくない）
- ②児童の説得ができない（保護者・児童へのケースワークが十分でない）
- ③非行性が高い・仲間がいる処遇困難な児童を施設が処遇できない（任せられない）
- ④入所依頼をするが、施設の状況（不安定）や本人の同意を求められて入所不可
- ⑤入所条件が厳しい（中2までしかとらない、1年間しかみないとの条件がある）

2 施設の受け入れが困難な場合

- ①処遇困難児童が多く（ADHD など）、難しいケースの入所が困難
- ②中卒後の児童の新規入所のプログラムがない
- ③児童相談所の関わりが少ないまま入所すると落ち着かない
- ④処遇困難事例の対応に困り、職員に少数安定志向がある
- ⑤経験年数の少ない職員が多く、一度に児童数を増やすことに不安がある

3 地域での施設の評価

- ①児童自立支援施設を退所した児童が地域でうまくいっていないことから、地域が利用に消極的で、施設を利用してもよくならないと思われる。（逆の場合もある。）
- ②施設のことを理解してもらっていない。知られていない。
- ③施設に児童を入所させることが悪いことだと思われる。
- ④どうしようもなければ施設にと考えられており、早期の利用の必要性が考えにくい。
- ⑤集団で1人だけ施設というのがとりにくい。

資料 4

千葉県の実情

千葉縣市川児童相談所
石井 宏 明

児童自立支援施設 「生実学校」

定員 80 名（男子 3 寮、女子 1 寮、通所 16 名） 1 寮 16 名 中舎交代制
公教育導入（昭和 61 年）
住込み寮長制が廃止され交代制勤務となる。（平成 11 年）

平成 17 年 4 月 1 日 設置及び管理条例一部改正

定員 86 名（男子 3 寮、女子 2 寮、通所 16 名） 1 寮 14 名 小舎交代制
分教室に教頭配置

年度別初日平均在籍数

平成 12 年 39,7 名	13 年 42,9 名	14 年 39,8 名	15 年 33,3 名	16 年 43,3 名
49,6%	53,6%	49,8%	41,6%	54,1%
62,0%	67,0%	62,2%	52,0%	67,7%

- ・ 児童本人の同意、保護者の同意
- ・ 入所依頼から入所までの期間
- ・ 被虐待児と発達障害児の理解
- ・ 高等部処遇（高校進学）
- ・ 公教育の問題
- ・ その他